

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	18	課題区分	C	令和8年(2026年)4月2日
横断的な課題	安全・安心に暮らすことができる住みやすい地域づくり					南信州地域振興局
地域重点政策	安全・安心に暮らすことができる住みやすい地域づくり					
実施機関	飯田保健福祉事務所・南信州地域振興局			担当課	所属	飯田保健福祉事務所健康づくり支援課
事業名	地域保健と職域保健の連携による企業等における健康意識の向上と信州ACEプロジェクトの推進				電話	0265-53-0443(内線2141)
				E-mail	iidaho-kenko@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	働き盛り世代を対象とした健康づくり、企業における健康意識の向上とともに、ACEプロジェクト(健康づくり県民運動)の一層の推進を図る。 →健康づくりに取組む事業所の増加(健康経営優良法人、健康づくりチャレンジ宣言等) 飯伊地域住民の健康づくりの取組の向上				
	現状と課題	・南信州地域は脳血管疾患による標準化死亡比が県全体より高い状態が続いている。脳血管疾患の危険因子としては、高血圧、脂質異常症、喫煙、糖尿病の4つがあり、これらの危険因子を低減するには、栄養・食生活、身体活動・運動などの生活習慣の改善が必要である。 ・当地域の40歳から74歳までの特定健診データの分析結果をみると、肥満・メタボの該当者は県全体と比べ少ないが、高血圧の該当者は明らかに少ないとはいえない状況がある。また、運動習慣のない者が比較的多く、近年は野菜摂取量が県全体と比べ少ない傾向にある。そのため、特に働き盛り世代を対象に、高血圧対策として、野菜摂取量の増加や減塩などの食生活改善と、積極的に身体を動かす運動を習慣化する必要がある。 ・働き盛り世代の保健へのアクセスについては、企業等の努力によるところが大きく、場合によっては有所見者が生活習慣の改善のための保健指導を受けられずにいる可能性がある。				
内容 (変更後の内容)	1 「ACEフォーラムin南信州」の開催 ○目的:企業としての健康意識向上と働き盛り世代を重点とした県民の健康づくりの推進を図る。 ○参集者:事業所の健康管理担当者及び従業員(職域保健関係者)、並びに、市町村健康増進施策担当者(地域保健関係者)等 ○日時:令和7年10月7日(火) ○場所:エス・バード ○内容:講義(レクチャー) ・健康づくりに取組む企業からの取組紹介 ・フレイル予防について体験・参加型の展示コーナー ・歩行姿勢チェック、筋力アップの身体活動について ・健康・保健相談、骨密度測定等 ・健康メニューの試食 ・メンタルヘルス等、健康づくりに関する展示 2 地域・職域連携推進協議会の開催 ○目的:地域保健と職域保健の連携により、健康づくりのための健康情報の共有のみならず、保健事業を共同実施するとともに、保健事業の実施に要する社会資源を相互に有効活用し、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制の検討を行う。 ○参集範囲:市町村、全国健康保険協会、労働基準監督署、健診団体、地域産業保健センター等 ○日時:令和8年3月17日					
	事業期間	令和7年10月		～	令和8年3月	
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考		
	「ACEフォーラムin南信州」の開催	フォーラム開催経費	100,000	会場使用料:50,000円、複写機使用料5,000円、郵送料:11,000円、チラシ用紙代等:5,400円、展示パネル28,600円		
合計			100,000			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	参加者の満足度(アンケート調査)		40%以上	41.2%	達成	
	ACEプロジェクトの認知度(アンケート調査)		17%以上	72.6%		
	健康づくりに取組む事業所の増加(健康経営優良法人、健康づくりチャレンジ宣言等)		44社以上	61社		
事業実績・成果	1「ACEフォーラムin南信州」の開催 ・働き盛り世代の健康づくり及び企業等における健康意識の向上を図るため、事業所の健康管理担当者、従業員、市町村健康増進施策担当者等を対象に、「ACEフォーラムin南信州」を開催し、100名が参加した。 ・フォーラムでは、健康づくりに取り組む企業の事例紹介のほか、フレイル予防、歩行姿勢チェック、筋力アップにつながる身体活動、健康・保健相談、骨密度測定、健康メニューの試食、メンタルヘルス等に関する展示を実施し、参加者が自身や職場の健康づくりを具体的に考える機会を提供した。 ・参加者からは、「体験しながら学べて楽しかった」「会社でも取り入れたい内容が多かった」「来年度もぜひ開催してほしい」といった意見があり、体験型プログラムを通じて健康づくりへの関心を高める機会となった。 2 地域・職域連携推進協議会の開催 ・協議会では、働き盛り世代の健康課題や、企業等における健康づくりを進める上での関係機関の役割について情報共有を行い、地域保健と職域保健が連携して取り組む必要性を確認した。 ・協議会では次年度以降の取組について、企業の健康管理担当者や経営者にとって参加しやすく、実践につながる内容とする方向性を共有できたことから、今後の地域・職域連携事業の充実に向けた基盤づくりにつながった。					
	今後の方向性	3月に開催した地域・職域連携推進協議会では、次年度の開催に向けた方向性が示され、働き盛り世代の健康づくりを推進するため、企業の健康管理者や経営者に響く内容となるよう、より一層の充実を図っていくこととなった。 今後とも、地域保健と職域保健が連携した事業となるよう、継続して充実を図っていく。				